



平成27年度 ダイオキシン類実態調査結果

■町内5地点を調査

町では毎年、一般環境中（大気）におけるダイオキシン類の現状を把握することを目的に、平成11年度から調査を行っています。平成27年度の調査は川北地区および五ノ坪地内の5地点で実施し、その結果がまとまりましたのでお知らせします。

調査の結果、一般大気中の環境基準値を下回っていました。

実態調査結果（調査日：平成28年1月22日～1月29日）単位：(pg-TEQ/m³)

調査地点	①寄居小学校	②寄居中学校	③用土小学校	④西部コミュニティセンター	⑤五ノ坪集落農業センター
各地点濃度	0.037	0.030	0.038	0.031	0.032
(参考) H25年度	(0.021)	0.028	0.084	0.026	0.020
環境基準値	0.6				

※ pg：ピコグラム（Picogram；1兆分の1g）

※ TEQ：毒性等量（毒性の違うダイオキシン類を、最強の毒性を有するダイオキシン（2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-パラ-ジオキシン）の量に、換算した量として表していることを示す記号）

※ 役場の調査地点への太陽光発電設備設置に伴い、平成27年度から調査地点を寄居小学校に変更しています。

■ダイオキシンを削減

今回の測定期間中、一部の地点では野外焼却の跡や、周辺で煙が上がっていることが確認されています。大気中のダイオキシンは野外焼却をすることによって増加してしまいます。

また、廃棄物の野外焼却は一部の例外を除いて『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』により禁止されています。違法に野外焼却を行うと罰則の対象になりますので、家庭のゴミは分別し、決められた収集日に集積所へ出ししましょう。

事業所から出たごみ（事業系一般廃棄物・産業廃棄物）は町では収集を行いませんので、町や県の許可を受けた収集運搬業者へ依頼し、適正な処理を行ってください。

■問い合わせ

生活環境エコタウン課（☎581・2121内線224）へ。



特定外来生物 オオキンケイギク

5月から7月にかけて、オオキンケイギクという黄色い花が河川敷や道端、または空き地などに咲いている光景が見られます。オオキンケイギクは、特定外来生物に指定された種類の花です。きれいな花ですが、持ち帰ったり、家の庭に植えたりしないようご注意ください。



（出典元：環境省九州地方環境事務所）

系に影響を及ぼす恐れがあるため、これ以上増やさないよう防除を行うことが必要です。

■オオキンケイギクの見分け方

- 葉の両面に荒い毛があり丸みを持ち、茎から対になって生えている。
- 花びらは黄橙色で先端が不規則に4～5つに分かれている。（コスモスに似ている）
- 詳しくは、環境省のホームページに掲載されているパンフレット等をご確認ください。

■オオキンケイギクの防除方法

オオキンケイギクは根が残っていると再生するため、根ごと引き抜く必要があります。また、種子を拡散させないためにビニール袋等で2重に梱包して密封し、数日間天日のもとに置いて枯死させます。その後、可燃ごみとして適正に処分をお願いします。

■問い合わせ

生活環境エコタウン課（☎581・2121内線223・224）へ。



平成27年度 主要河川実態調査結果

■町内10箇所の水質を調査

町では毎年、河川の水質調査を実施しています。

この調査は、身近な河川の水質状況を知っていたくとも、今後の生活排水処理対策事業に反映させることを目的に行っているもので、このたび平成27年度の調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

なお、河川水質調査は、寄居町内の27河川、30地点を毎年1回、10地点ずつ調査しており、今年は鉢形地区および男衾地区の調査を実施しました。

今回調査を行った10地点については、前回の調査と比べて水質が改善傾向にある河川が多くなっていますが、一部水質が悪化した河川もあることから、今後も継続した監視を行ってまいります。

■川を汚さないために

河川の汚れは生活排水が処理されず、汚濁物質が含まれた状態で放流されてしまうことが主な原因です。昔に比べると、公共下水道や合併処理浄化槽の普及により河川水質は改善されつつありますが、汚れたままの生活排水は依然として河川に放流されている状況です。

生活排水中の汚濁物質を削減するために、食べ残しや油汚れ、毛髪などはそのまま排水溝に流さずに取り除き、可燃ごみとして処分することや、普段使用している洗剤を分解性の高い石鹸などに切り替え

るなど、日ごろから皆さんが生活排水の水質改善を心がけていくことが、きれいな河川環境へとつながります。

また、水質悪化を防ぐためにも、単独処理浄化槽および汲み取り便槽を使用しているご家庭は、公共下水道および農業集落排水への接続や、合併処理浄化槽への切り替えをお願いします。

なお、町では合併処理浄化槽の設置工事費等の一部を補助する制度や、公共下水道へ接続するための宅内排水設備工事費に対する融資あっせん制度がありますのでご活用ください。

■浄化槽の維持管理をお忘れなく

浄化槽をお使いの場合、適正な維持管理を行っていただければ、浄化槽がもっている本来の機能が発揮できず、汚れたままの生活排水が処理されないまま放流されてしまい、河川の水質悪化につながります。

浄化槽の点検や調整等を行う「保守点検」、浄化槽内に生じた汚泥などの引き出しや調整、機器類の洗浄を行う「清掃」及び浄化槽の機能診断を行う「法定検査」の三つの維持管理を行っていただきますようお願いいたします。

■問い合わせ

生活環境エコタウン課（☎581・2121内線224）へ。

実態調査結果（採取日：平成28年1月21日）

河川名	採水場所	BOD濃度 (mg/ℓ)		河川の状態
		27年度	24年度	
関山川	荒川合流前	7.2	5.3	前回調査からやや悪化し「きたない」水質状態となっています。
宮川	小園中央道横断付近	4.5	5.4	前回調査から改善し「ややきたない」水質状態となっています。
塩沢川	荒川合流前	0.9	1.4	継続して「きれい」な状態で、非常に清浄な水質を示しています。
塩沢川	農免道付近	2.1	3.5	前回調査から改善し「きれい」な水質状態となっています。
明神川	吉野川合流前	4.1	9.3	前回調査から改善し「ややきたない」水質状態となっています。
谷津川	吉野川合流前	0.7	0.9	継続して「きれい」な状態で、非常に清浄な水質を示しています。
吉野川	関越自動車道付近	4.0	30.0	前回調査から大幅に改善し「ややきたない」水質状態となっています。
吉野川	明神川合流前	2.2	5.9	前回調査から改善し「きれい」な水質状態となっています。
新吉野川	荒川合流前	0.5未満	0.9	継続して「きれい」な状態で、非常に清浄な水質を示しています。
市野川	稲荷橋付近	0.8	0.5	継続して「きれい」な状態で、非常に清浄な水質を示しています。

※BOD：水質の汚濁状況を示す代表的な指数です。BODは水中の有機物が微生物によって分解されるときに消費される酸素の量を示し、数値が大きくなるほど汚濁していることを表します。BOD濃度 (mg/ℓ) が2.5未満で「きれい」、2.5～5.0で「ややきたない」、5.1～10.0で「きたない」、10.1以上で「極めてきたない」水質状況となります。